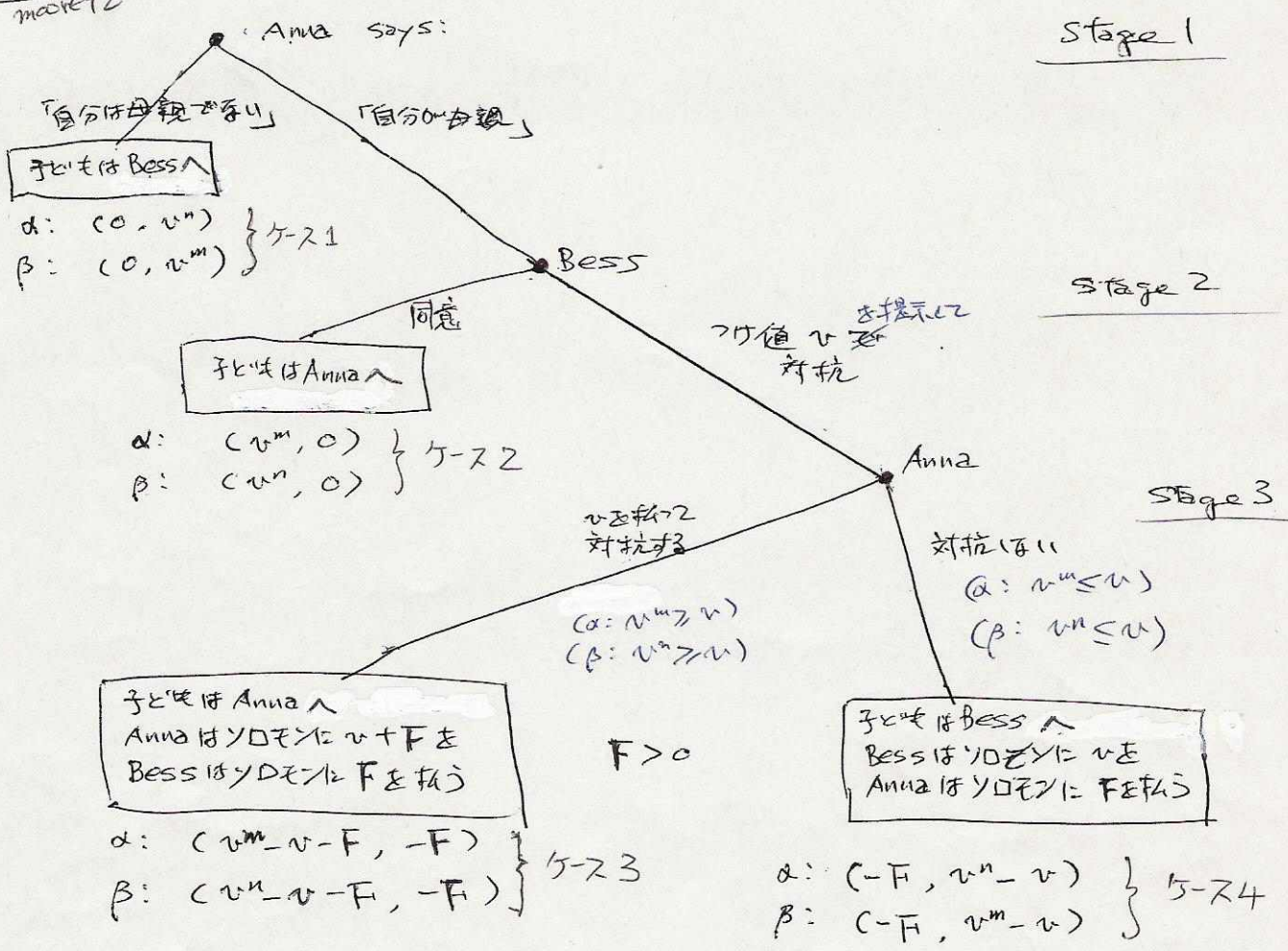


Figure 5.3
mao192



注: 各ケースの各状態 (α or β) にあるカッコ内は (Anna の利得, Bess の利得) を表す利得列である。

Figure 5.4 moore 92

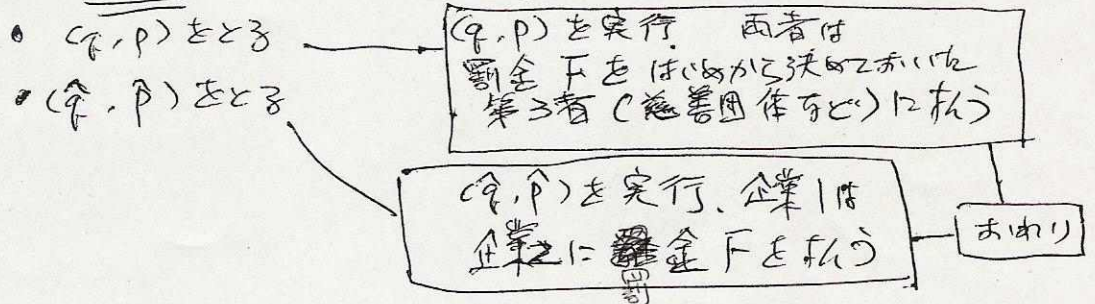
Stage 1 (企業1のコストを引出す)

Stage 1.1 企業1 が自分のタイプは θ_1 と報告.

Stage 1.2 企業2 は同意するか Stage 2.1

対抗し以下の条件を満たす "test pair"
 (q, p) と (\hat{q}, \hat{p}) とを提示する:
 $p \geq 0$ and
 $p - c(q, \theta_1) \geq \hat{p} - c(\hat{q}, \theta_1) + \epsilon$

Stage 1.3 企業1 は次のどちらかを選択:

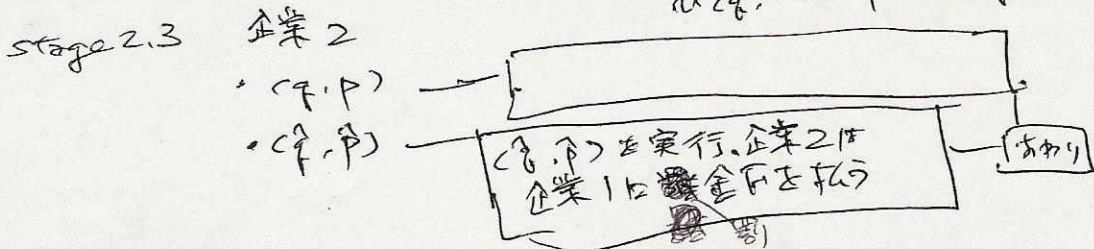


Stage 2 (企業2の便益を引出す)

Stage 2.1 企業2 が自分のタイプ θ_2 と報告

Stage 2.2 企業1 同意対抗 Stage 3.1

$(q, p), (\hat{q}, \hat{p})$:
 $p \leq 0$ and
 $v(q, \theta_2) - p \geq v(\hat{q}, \theta_2) - \hat{p} + \epsilon$



Stage 3 合意のあったタイプ $\theta = (\theta_1, \theta_2)$ と与えられた (q, p) を実行.
 $f(\theta) = (q(\theta), p(\theta))$ を実行.